

TOPICS

大切な命を守るために

地震災害へ備えよう

7月28日に発生した令和8年熊本地震では、最大震度7の激しい揺れを観測し、家屋の倒壊をはじめ多くの被害が発生しました。地震はいつどこで発生するか分かりません。今一度「日頃の備え」と「発災後の対応」を確認しておきましょう。

地震発生時の行動は？

！ 揺れを感じた時

- 机の下に潜るか、持っているもので頭を守る
- 可能であれば、避難経路を確保する



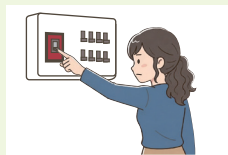
！ 揺れが収まったら

- 火の始末をする
- むやみに移動を開始しない



！ 避難する時

- ブレーカーを落とす
- エレベーターは使用しない



最寄りの避難所の確認などにご活用ください

防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」では、避難情報などの防災情報を随時更新しています。



避難の形はさまざま

地震災害への備えは、各家庭により異なります。

どこに避難するのか、どのような備蓄品が必要なのか、事前に確認し、地震災害に備えておきましょう。

避難所

防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」でお住まいの地域の避難所の開設・混雑状況を確認できます。

在宅避難

棚やたんすなどの家具が倒れてこないよう固定する、食料・飲料水を備蓄するといった事前の備えが大切です。

車中泊避難

エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に注意が必要です。

詳しくは「福岡県防災ハンドブック」をご確認ください。



備蓄品は準備できていますか？

- ☐ 食料・飲料水(非常食 最低3日分/1人、飲料水9リットル/1人(3日分)など)
- ☐ 重要書類(マイナンバーカードや運転免許証、通帳のコピーなど)
- ☐ 救急用品(ばんそうこう、消毒液、持病の薬、お薬手帳など)
- ☐ 衛生用品(携帯トイレ、マスク、ウェットティッシュ、生理用品など)
- ☐ 生活用品(手袋、タオル、ハンカチ、メガネなど)
- ☐ 衣料(下着、上着、毛布など)
- ☐ 避難グッズ(非常用持ち出し袋(リュックサックなど)、懐中電灯、ヘルメットなど)
- ☐ 情報グッズ(スマートフォンなどの充電器、モバイルバッテリー、ラジオなど)
- ☐ 燃料(カセットコンロ、カセットガス、固形燃料など)

使いながら賢く備蓄

日頃から食料や日用品を多めに購入し、使った分だけ補充していく「ローリングストック法」で、常に一定量を家に備蓄しておきましょう。



避難所生活の負担を軽くするために、さまざまな設備や機器の導入を進めています

令和10年度末までに全ての県立高校の体育館へエアコンを設置

地域	令和8年度の設置予定校
北九州	育徳館、中間、門司学園、門司大翔館
福岡	朝倉、朝倉東、糸島、宇美商業、修猷館、新宮、太宰府、筑紫、筑紫中央、福岡農業、武蔵台、宗像
筑豊	嘉穂、東鷹、西田川
筑後	浮羽、究真館、輝翔館、久留米、福島、三潴、明善



トイレカー、コンテナトイレを導入

令和8年3月に災害用大型トイレカーと自立可動型コンテナトイレを導入しました。令和8年熊本地震の際には県から両設備を派遣し、全国各地からトイレカー26台、コンテナトイレ16台が集まりました。

トイレカー



大容量タンクにより約800回の連続使用が可能

コンテナトイレ



電源と上下水道に接続せず約4000回の連続使用が可能

令和8年熊本地震に伴い県から災害派遣を行っています

県では、被災地の一日も早い復旧・復興のため、発災当日から順次職員を派遣しています。

今後も、被災地からの要請に応じ派遣を続けていく予定です。

出発式



避難所設置

